

「地域に愛され、地域社会に貢献できる

人材育成のためにできることは」

埼玉県立ふじみ野高等学校

平成 25 年に埼玉県立大井高等学校と埼玉県立福岡高等学校が統合され埼玉県立ふじみ野高等学校が開校。特色としては全日制男女共学校で普通科と県内唯一のスポーツサイエンス科が併設されています。

スポーツサイエンス科は、卒業までにダイビングライセンスの取得や、学校に 50m プールを有するなど、スポーツに重点を置いた教育課程・質の高い授業を展開・充実した部活動など他校には無い特色ではないでしょうか。

《PTA 活動について》

PTA 本部を中心に月に一回程度、準備会を開催し年 5 回の常任理事会、理事会と定期総会を行っています。

委員会は、進路研修委員会・施設委員会・広報委員会・生活委員会にわかれ活動しています。生徒たちの元気な挨拶が飛び交う清々しい校内に花を添えてくれるのが施設委員会です。校内の花壇の手入れと植栽活動を行っており先生、生徒だけでなく来校者を温かく迎えられるように活動しています。

《生徒指導と PTA》

PTA 活動を通して生徒たちがたくさんの方と触れ合うことで社会に役立つ人材育成につながっています。特に『声かけ運動』は挨拶の大切さとあいさつをすることの訓練と、地域の皆さんに愛される人間形成に役立っています。過日、バイクの『3 ない運動』が廃止との報道があり学校と協力して交通安全指導にも取り組むことが今後の課題と思います。



《感想》

発表をうかがって、スポーツサイエンス科のスポーツを科学する！スポーツリーダーの育成！というのにとっても興味がわきもっとお話を聞いてみたいと思いました。南校には無い施設委員会の活動もとても良いと思いました。

本部の方々の「生徒に負けない挨拶と笑顔で楽しく運営しています」というのを聞いて私も今後の PTA 活動で意識しながら行動していきたいと思いました。